

主の降誕 日中のミサ

ヨハネ 1・1-18

2021.12.25

カトリック高円寺教会 11:00

主任司祭 吉池好高神父

今日はいよいよ皆さんの初聖体の日です。小学生会のリーダーと一緒にこの初聖体の準備をしてきました。どうしてもっと早く初聖体ができないのか。少し疑問に思うかもしれませんが。けれども、全部は分からなくてもいいけれども、今日いただくあのご聖体のパンがイエス様だ、そのように分かることが必要だったので、「ああ、そうだ。あのご聖体をいただくと、イエス様がわたしのところに来てくださるのだ。嬉しい」そんな心に皆さんがなってくれるのを待って、今まで、「もう少し分かることができるように待ってください」、教会はそんなふうにならなくて済むように言ってきました。

今日は皆さんのところに来てくださるあのご聖体のパンがイエス様のお体、イエス様がわたしたちに与えてくださる神様の命。その神様の命によってわたしたちはこれからもっともっとイエス様のことが大好きになり、イエス様が教えてくださった天の父である神様がもっともっと好きになるように、これからも、なかなか難しいけれども、お母さんが教会に来るときには一緒にこのごミサに来られるように頑張ってみましょう。

イエス様は、神様がお造りになられた世界中のみんなが大好きだ、大大大好きだ、そのことをみんなに分かってもらえるために、イエス様が大好きな天の父である神様のもとから、神様のお心をみんなの人に分かってもらうためにわたしたちのところに来てくださいました。イエス様が一番好きなのは、天のお父様、すべての命の源である神様です。大好きだということは、大好きな人の言うことをよく聞いて、天の父である神様がどんなことをお望みになっておられるのか分かって、その神様のお心をわたしたちの中に、みんなに分かってもらえるために、神様のところからわたしたちのところに来てくださいました。この世界に住む全ての人に分かってもらいたい、少しでも分かったら、こんなに素晴らしい神様のお心をどうぞ受け止めてください、そう言って、イエス様は天のお父様である神様のところから来てくださって、そして、そのことが分かってくださる皆さんのところに来てくださいます。ご聖体のイエス様がわたしたちのために天のお父様のところから来てくださって、そして、十字架の死を通してわたしたち全ての人を神様のもとに連れて行くために来てくださった

イエス様、そのイエス様が今日わたしたちの中に来てくださるんだ、その喜びを、イエス様、わたしたちにどうぞ少しでも分かせてください、これからずっとイエス様がいてくださる、イエス様がどんなときでもわたしたちと一緒にいてくださる、これから色々なことがあるかもしれないけれども、イエス様がいつも一緒にいてくださる、だからわたしはへこたれない、頑張れる、そんなふうに思えるように、今日イエス様をお迎えして、イエス様にお願いしましょう。

いつもわたしたちと一緒にいて、わたしの中において、わたしの心を天の神様のほうに向けて行くことができますように。これから、ずっとずっといつも一緒だよ、そんなふうに言ってくださるイエス様をお迎えして、こんなに嬉しいことはない、そのような心になれて、今日の初聖体をいただくことができますように。